

## 第1号議案 2015年度事業・活動報告

### ＜ 活動のまとめ ＞

#### 1. 古着類の回収とアル・カイル事業グループへの送り出し

##### 1) 古着・毛布などの回収

2015年度の回収は、計画を130トンとしました。これは、アル・カイル事業グループ（以下AKBG）への4回の古着コンテナ送り出しと、国内古着リユース販売事業に必要な量として計画しました。回収実績は113.6トンで目標には届きませんでした

回収期間	回収量	送付人数
2015年9月1日～12月31日	44,865.8 kg	9,687人
2016年1月1日～4月30日	31,624.4 kg	7,870人
2016年5月1日～8月31日	37,105.4 kg	9,074人
合計	113,595.6 kg	26,631人

した（内訳：千葉センター95.9トン 東葛センター17.7トン）。前年度に比べて7.7トン減り、送付人数も約600人減りましたが、前年度に回収した在庫があり、国内の古着販売事業とAKBGへの4回の輸出は計画通り行なうことができました。会員・支援メンバーの方からの送付は全体の回収量の11.5%（延べ1,452人）になりました。ご協力ありがとうございました。

センターでの回収受付期間は年に3回も受けました。受付品目は回収（入口）と、パキスタン輸出・国内販売（出口）に必要なもののバランスで決めています。在庫量が特に多かった女性のブラウス・カットソーは、3回の回収受付のうち1回だけの受付として調整しましたが、受付品目が減ったことが全体の回収量の減少につながったのではないかと思います。また、東葛センターの回収量が計画の半分以下だったため、千葉センターに届いた荷物を移動しました。

JFSA 千葉センター、東葛センター周辺の方たちには、看板やパネルなどを通じて広報しました。また、2つのセンターで開催したチャリティバザール（6月と12月に実施）と千葉市稲岸公園で開催した「ぼっぼの市」（4月と12月）で回収を行ない、周辺の地域の方たちが参加しました。

ホームページを見て参加する方の人数と回収量は、前年度とほとんど変わりませんでした。ホームページそのものへのアクセス数は減りました。

（協力団体の方々からの回収は、「6. 多様な団体との連携」と資料をご覧ください）

##### 2) AKBGへの古着送り出し

計画した4回のAKBGへの送り出しを実行することができました。これは東葛センターの作業体制が確立されたことにより選別量が増え、約3ヶ月でコンテナ1本分の輸出用バールの準備が可能となったことが大きな要因です。回収量は計画量を下回りましたが、持ち越しになっていた未選別在庫が千葉・東葛両センターにあり、それらを選別することで輸出量を確保することができました。

	JFSA コンテナ積込み	AKBG 受渡し・倉庫着	送り出し量
第51回	2016年1月13日	2016年2月20日	24,585 kg
第52回	2016年4月6日	2016年5月13日	24,122 kg
第53回	2016年7月2日	2016年8月10日	24,409 kg
第54回	2016年9月28日	2016年11月4日	25,166 kg
合計			98,282kg

パキスタンでの卸売価格の低い品目についての取り組みとしては、2016年7月の派遣の際にAKBGカユーム氏とともに事務局がタイのバンコク（古着の国際的マーケットがあり、パキスタンからも女性のブラウス・カットソーが輸出されている）を訪問し、カユーム氏の知人のパキスタン人の古着卸業者の案内でマーケットの調査を行ないました。

## 2. AKBGとの事業連帯の推進とアル・カイルアカデミーの自立支援

### 1) 事務局の派遣

事務局の派遣を以下の目的とスケジュールで実施しました。

#### ①AKBG 事業活動の推進

- ・古着販売事業  
JFSA、グリーンコープコンテナの荷下ろし、及びAKBG 価格交渉への立会い。  
その他 パキスタンからの輸入アイテムの可能性調査など。
- ・フェアトレード事業の推進・縫製工場の事業  
協力団体によるオーダー品に関する業務。
- ・リキシャ事業関係
- ・洪水被災地ダドゥのアニマルプロジェクトの進捗状況確認。

#### ②アル・カイルアカデミー教育事業の視察

- ・本校・分校について・・・本校、分校についてそれぞれの現況の確認。  
インタビュー(生徒、先生、家族)、労働現場の訪問、家庭訪問など。  
その他：発電機(大地を守る会、グリーンコープ、アーシアン寄贈) 利用状況の確認。
- ・青空学校の今後について確認(10年前の大地震被災地バラコートの訪問)

#### ③危機管理についての確認。

#### ④JFSA20 周年企画についての相談。

#### ⑤JFSA 総会企画・招日企画の相談。

派遣期間	
10/29～11/13	依知川
12/14～12/24	田辺航太郎(同行者:東葛センター元アルバイトスタッフ石塚氏)
2/15～2/25	田邊・入江・荒金(同行者:韓国生協ハンサリム連合、アーシアン代表、副代表)
5/9～5/19	桑山・依知川
7/27～8/11	航太郎・依知川(同行者:大地を守る会職員2名) *2014年度実行できなかった、タイ・バンコクでの古着マーケット調査も行なった。

### 2) 古着販売事業

JFSA からは4本のコンテナを輸出しました。グリーンコープ・ファイバーリサイクル事業部(GC)からは3本のコンテナが輸出されました。AKBGによる古着販売事業は、古着を取り巻く状況が良くないとの理由(パキスタン国内のマーケットが低調、イランが古着輸入を禁止、アフガニスタンの古着関税率が上がった等)から、卸業者ワリー氏・ニアーズ氏への卸売価格はAKBGの希望する価格よりも低い価格となりました。パキスタンでの古着輸入関税率が上がったことにより、JFSA 第51回、GC 第10回のコンテナは1回の輸入経費が約20万ルピー増加しましたが、それ以降の関税率は元に戻りました。

コンテナの到着に合わせて事務局を派遣しました。(JFSA 第54回、GC 第12回コンテナ到着に合わせた派遣は2016年11月予定)卸売価格交渉に立ち会い、販売利益が増えるように協力しました。また、コンテナの荷下ろしに参加して、古着等の受渡しの確認を行ないました。

JFSA 第51回～54回の輸出総量は98,282KGでした。第53回までの純利益合計は4,253,544ルピー(4,398,202円)でした。GC 第10回～12回の輸出総量は71,806KGでした。第10回、第11回の純利益合計は1,667,307ルピー(1,716,506円)でした。(3ページのAKBG古着販売事業収支参照)

JFSA 第54回・GC 第12回コンテナについては、カラチ港到着が11月6日となり卸売価格が未定のため(11月7日現在)、収支報告は総会当日及び会報で行ないます。

GCからのコンテナは、古着の梱包方法（梱包バンド、梱包器具）が変更されたことにより、ペールの容積が小さくなり、第10回以降、1本あたりの積載量が2000KG以上増加しました。

【資料】 JFSA 第51回、第52回、第53回、第54回 AKBG 古着販売事業収支

	第51回 (16年2月到着)	第52回 (16年5月到着)	第53回 (16年8月到着)	第54回 (16年11月到着)	合計 収入合計以下は53回まで
送り出し量	24,585 kg	24,122 kg	24,409 kg	25,166 kg	98,282kg
収入合計	2,704,350 円	2,581,054 円	2,684,990 円		7,970,394 円
卸売価格	110 円/kg	107 円/kg	110 円/kg		
*レート	1 円 = 1.09 円	1 円 = 1.04 円	1 円 = 0.98 円		
経費合計	1,360,463 円	1,166,027 円	1,190,360 円		3,716,850 円
①日本サイド	807,813 円	822,176 円	879,301 円		2,509,290 円
②パキスタン サイド	552,650 円	343,851 円	311,059 円		1,177,560 円
1kg 当たり経費	55 円/kg	48 円/kg	49 円/kg		
純利益	1,343,887 円	1,415,027 円	1,494,630 円		4,253,544 円
純利益 (円)	1,464,837 円	1,471,628 円	1,464,737 円		4,398,202 円

前年度純利益：6,792,664 円

【資料】 グリーンコープ第10回、第11回、第12回 AKBG 古着販売事業収支

	第10回 (16年1月到着)	第11回 (16年8月到着)	第12回 (16年11月到着)	合計 収入合計以下は11回まで
送り出し量	23,877 kg	23,865 kg	24,064 kg	71,806kg
収入合計	1,910,160 円	1,909,200 円		3,819,360 円
卸売価格	80 円/kg	80 円/kg		
*レート	1 円 = 1.09 円	1 円 = 0.98 円		
経費合計	1,159,749 円	992,304 円		2,152,053 円
①日本サイド	659,433 円	697,641 円		1,357,074 円
②パキスタン サイド	500,316 円	294,663 円		794,979 円
1kg 当たり経費	49 円/kg	42 円/kg		
純利益	750,411 円	916,896 円		1,667,307 円
純利益 (円)	817,948 円	898,558 円		1,716,506 円

前年度純利益：2,535,248 円

3) 新しい事業の取り組みの検討

新たな輸出品目の調査に取り組むことができませんでした。

4) AKBG 海外古着輸出

事務局派遣時に、2回古着を輸入しました。国内卸売事業については、ホームページを見た来客への対応以外に行なっていませんが、現状の人員ではそれ以上の対応はできないと判断しました。今後の事業拡大のための課題となりました。

パキスタン物産については、卸売事業に対するアプローチから、チャードル(大判のショール)やカミューズシャルワール(パキスタン民族衣装)の仕入れに取り組みました。好評を得られましたが、パキスタンで一定の品質の商品を安定して仕入れることが難しい点が課題となりました。

## 5) 縫製工房

仕事のすすめ方や製品の企画内容を AKBG と話し合い、事務局派遣時には縫製工房で直接に製品の点検と、作業の確認をしました。縫製工房には以下の製品をオーダーし、一部を輸入して販売しました。

- ・ギャルソンエプロン（社福グリーンコープ・ファイバーリサイクル事業部 \*店舗スタッフ用）  
※2015年11月納品
- ・名刺入れ（社福グリーンコープ・ファイバーリサイクル事業部 \*会員用） ※2016年2月納品
- ・胸当てつきエプロンと三角巾（グリーンコープ福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会  
\*ワーカーズの方たちの仕事用） ※2015年度中に一部を納品
- ・ガーゼストールとロールペーパーケース（生活クラブ生協虹の街 \*40周年記念取り組み品）  
※ロールペーパーケースは2016年10月に納品
- ・名刺入れ（生活クラブ生協虹の街 \*40周年記念品） ※2016年1月に納品予定

ガーゼストールとロールペーパーケースの生地は、アル・カイルアカデミーの近くにある小規模な紡績工場に注文を依頼し作ってもらうことができました。今後、新製品を検討するにあたって期待ができると AKBG は考えています。しかし、ロールペーパーケースの生地は注文できる単位がオーダーを受けた量の約2倍あり、残った生地の活用が課題になりました。

縫製工房スタッフは、新しい製品のオーダーを受けることで知識も増えて技術も向上することを喜んでいますが、新しいスタッフがトレーニングをして技術を高めても、結婚や家族の病気の看病、転居などで仕事をやめてしまう状況が続きました。このため、トレーニングが特に必要なグリーンコープ福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会のエプロンを計画通りに作る事ができず、納品の時期が遅れました。

AKBG は、パキスタン国内では手間賃の安価な下請けの仕事しか見つけることができませんでした。

## 3. 国内事業

1) センター業務(パキスタンへの送り出しと国内販売を計画通り実行できるように、古着の受入れ、仕分け・選別、保管、圧縮・梱包を行なう)

### ① 千葉センター

選別協力団体（6団体）が作業に参加しました。それにより、今年度回収分の古着等の一次選別（種類分け）はすべて終わりました。コンテナ送り出しの積み込み作業には各団体から参加がありました。新たな選別協力団体を増やすことはできませんでした。

二次選別（国内用・パキスタン用種類分け）用として在庫がたまっていたものについて、東葛センターと連携して作業をすすめました。作業場の整理を行なうことで、作業の効率化につながりました。

### ② 東葛センター

選別協力団体の呼びかけをするための十分な回収量が得られなかったため、呼びかけについては次年度以降に行なうこととしました。

選別体制については、作業場の整理をすすめたことと、人員を確保できたことにより、作業を潤滑に行なうことができました。

プレス機については、回収量を増やした上で行なうことを確認しました。

2) ショップ販売

### ① 千葉ショップ

年間6回セールを行ないました。その際にはハガキ・チラシで広報を行ないました。周辺地域へのチラシのポスティング枚数を増やしたことで、新しい方の来店に繋がり、昨年度と比べて売り上げは8%、来客数は3%増加しました。また、ポスティングは「社会福祉法人つどい あやめ」（古本の受託販売に協力）、「ワーカーズコープちば」（選別協力団体）にも委託しました。セールの際の古本の受託販売、子ども服売場の充実は2014年度に引き続き行ない、古本や子ども服目当てで来店する方が増えましたが、その先のイベントに繋げることができませんでした。

女性物（ブラウス・Tシャツなど）の陳列量を増やすことで、売上に貢献しました。なお、女性物はパキスタンでの販売価格が安く、できるだけ国内で販売したい品目です。

2015年10月より、ズボンのすそ上げサービス(有料)を始め、134本利用がありました。

2016年1月には、新年のセールに合わせて、来店した方におしるこを振る舞い、好評でした。

## ②柏店(古着ショップ<sup>カブレ</sup>kapre)

販売用のホームページを作成しました。インターネット販売の運営体制について、卸売りの顧客など、ネット販売を積極的に行なっている店舗の担当者から話を聞き、調査を行ないました。SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の必要性についても確認しましたが、人員不足により実行できませんでした。

## 3)街商販売(フリーマーケット、その他)

### ①フリーマーケット、イベントへの出店

千葉銀座通り、池袋西口公園、赤羽公園、新宿中央公園、津田沼公園、世田谷公園、世田谷区ふれあい広場、船橋競馬場、大井競馬場などのフリーマーケットを中心に出店しました。また稲浜ショップ(千葉市美浜区の公園商店街)のイベントやベイタウン幕張朝市(千葉市美浜区)などへは、JFSA ショップ・イベントの告知や古着回収の案内など、広報活動に繋げることを目的に出店しました。

### ②委託販売

販売協力団体

#### ・常設販売

「おおなみなみ(NPOクラブ)」、「アースマーケット(自然食品店)」

#### ・フリマ・イベントへの出店販売

「ここすも(グループホーム)」(2016年2月まで)、「ワーカーズ結(生活クラブ虹の街配送ワーカーズ)」、「あみあみ(生活クラブ虹の街組合員の編み物サークル)」、「うまいもん屋くらうど」、「みんなの広場(新規)」

常設販売の取り組みでは、売り上げ平均が前年度を約10%下回る結果となりました。売り上げを伸ばすために年度末にそれぞれの販売場所に応じた品揃えに力を入れたところ、特にアースマーケットではお客さんの反応も良く、売り上げ改善の兆しがありました。

またこれまでお互いの信頼関係を基盤に委託販売を行なってきましたが、今後の新たな委託販売の展開を考え、商品管理の方法を具体的にどのような方法で行なうかが課題となりました。

### ③その他の販売協力

フリマ出店2名(内1名新規)、着物販売1名の協力がありました。

### ④新たな取り扱い品目の検討

本年度、新たな取り扱い品目の調査を行なえませんでした。

## 4)市民活動と連動した企画

### ①協力団体主催の企画、市民活動と連動した様々な企画への参加

FR うらやすは、各地の市民祭り参加に協力を頂き、また年2回の着物市主催されJFSAの着物販売に協力いただきました。使いまわし工房、はぎれくらぶ麻の葉は着物販売企画へ協力があり、多くのメンバーが参加してくださいました。またJFSAの古着回収に取り組んでいる笠間市ボランティア協議会の方々は、笠間工芸の丘イベント出店の際に販売に協力してくださいました。

### ②支援バザール

JR船橋駅北口デッキにて、年2回(11月と4月)に開催し、大勢の来場がありました。また開催にあたり学生を含む大勢のボランティア参加がありました。

### ③チャリティーバザール

千葉センター、東葛センターでそれぞれ年2回（12月と6月）開催しました。様々な市民団体などの出店参加があり、近隣にお住いの方が大勢来場されました。

### ④着物市

千葉、東葛地域でリサイクル着物の販売に取り組む他団体と協力して開催しました。

千葉市中央区のレンタルスペース（まる空間）を使った着物販売企画の準備を行ないました。

### ⑤実行委員会への参加

新松戸中央公園チャリティーフリマ、アースデイちば、ぽっぽの市（稲岸公園チャリティーバザールは、今年度から地元の福祉団体や子ども関連団体、コミュニティーカフェ、事業者と協力して実行委員会を作り12月と4月に開催しました。4月からは新たな名称「ぽっぽの市」として開催しました。）

## 4. 広報活動と会員の参加

### 1) 会員数の増減

	会員数（うち新規入会数）	前年比	口数	前年比	計画口数
会員（個人）	154名（11名）	-1	174口	+4	210口
支援メンバー（個人）	1,222名（215名）	+19	1,389口	+1	1,550口
会員（団体）	10団体（0）	-1	10口	-1	11口
支援メンバー（団体）	7団体（3団体）	+3	7口	+3	10口

会員は減少しましたが、支援メンバーは増えました。継続率は84.7%（2014年度84.8%）でした。支援メンバーは新規入会者が増えました。

古着の回収に参加した方には、回収の案内といっしょに入会の呼びかけを郵送しました。

### 2) 広報活動

JFSAの会報を3回発行し、会員支援メンバーに送りました。39号の印刷には、千葉市市民活動支援センターを利用しました。40号からは、JFSAとAKBGの連帯事業やアル・カイルアカデミーの様子をより伝えるようにするため、カラー化し印刷を外注しました。活動報告会やイベントなどでも配布しました。会員支援メンバー、古着の回収に参加した方に昨年度に引き続き、回収案内を送りました。回収品目を見やすくするため、デザインの変更を行ないました。会報や回収案内などの発送費用は寄せられた書き損じはがきや未使用切手で全て賄うことができました。

会報	部数
39号（2015.12）	2400
40号（2016.04）	2300
41号（2016.09）	2500

ホームページ、リーフレット共に情報の充実、見やすくするためにリニューアルを検討し変更する予定でしたが、必要最低限の更新に留まりました。活動報告会の際に、事務局がそれぞれパキスタンで撮影した動画を活用し好評でしたが、本格的な作成と活用には検討が必要です。

### 3) サポーターグッズ

2014年度に送る予定だったサポーターグッズ（ブックカバー）を11月に送りました。ムザヒル校長は「サポーターグッズの作成は子どもたちにとって、特定の誰か（JFSAの会員支援メンバー）のために物を作るという彼らが普段行なっている内職等とは違う機会を得ることができる貴重な場」であり、JFSAにとっては「会員支援メンバーにとって子どもたちの存在を身近に感じてもらえる物」とであるという、サポーターグッズの持つ意味を話し合いました。今年度のグッズの作成には至りませんでした。

### 4) ボランティアの参加

コンテナの送り出し、フリーマーケットやイベント、チャリティーバザール、回収案内や会報の発送ではボランティアの参加がありました。和服類の整理は、専門知識のある方や和服好きの方が定期的（1

カ月に1度。着物市やイベントの前には1カ月に2度)行ない、イベントや着物市では、販売でも活躍しました。JFSAに寄せられた切手やハガキの整理は、2・3ヶ月に1度事務局と一緒に行ないました。

市川市夏休みボランティア(4名)、松戸レッツ体験夏休みボランティア(8名)で学生のボランティアを受け入れました。

## 5)活動報告会・交流会・企画出展など

活動報告会や交流会に参加しました。さまざまな企画に出展しました。

### 2015年 10月

9日 笠間浪漫(～12日)

17日 パルシステム千葉 東金センターまつり

浦安市民まつり(～18日)

25日 パルシステム千葉生協まつり 行徳まつり 新松戸中央公園チャリティーフリーマーケット

### 11月

1日 しんけみ広場(千葉市花見川区)

9日 世田谷桜町定時制高校授業参加(古着選別)

8日 はなみずき公園(松戸市)

13日 生活クラブ茨城 取手センター開設まつり

23日 おゆみ野文化祭(千葉市緑区)

25日 JFSA 定期総会 ムザヒル校長・AKBG 理事サジドナズイル氏との交流会

28日 柏たなか商店会収穫祭

29日 生活クラブ茨城つくばまつり

30日 みんなひろマルシェ(千葉市緑区)

### 12月

2日 浦安市市民活動センターでの着物市(～4日)

5日 生活クラブ虹の街 オールちば旬菜まつり

6日 JFSA 千葉センターチャリティーバザール

13日 JFSA 東葛センターチャリティーバザール 稲岸公園チャリティーバザール(千葉市稲毛区)

26日 稲浜ショッピングフリーマーケット(千葉市美浜区)

### 2016年 1月

25日 みんなひろマルシェ(千葉市緑区)

### 2月

4日 千葉市生涯大学校講師

6日 回転木馬記念イベント

20日 千葉会場着物市

28日 大地を守る会オーガニックフェスタ 取手会場着物市

### 3月

2日 ふくろうカフェ(緑区誉田)での活動説明&選別体験

7日 生活クラブ茨城取手センター選別体験

12日 としま社会貢献活動見本市

21日 あうんまつり

26日 松戸みらいフェスタ 稲浜ショッピングフリーマーケット(千葉市美浜区)

27日 みはまマルシェ(千葉市美浜区)

### 4月

2日 六高台桜祭り 常盤平桜祭り(松戸市)(～3日)

3日 ぽっぽの市(千葉市稲毛区 稲岸公園)

23日 大古着市(JR 船橋駅北口デッキ)

### 5月

8日 浦安市国際交流フェスティバル

22日 アースデイ千葉

23日 生活クラブ茨城取手センターJFSA 見学会

25日 浦安市市民活動センターでの着物市(～27日)

27日 パルシステム茨城選別体験

29日 はなみずき公園フリーマーケット

### 6月

5日 東葛センターチャリティーバザール ラベンダーマルシェ(市原市)

12日 千葉センターチャリティーバザール

13日 生活クラブ茨城水戸センター選別体験&交流会

- 14日 柏たなか商店会浴衣着付け&販売企画
- 19日 大地を守る会 100万人のキャンドルナイト 柏たなか商店会浴衣着付け&販売企画
- 23日 生活クラブ茨城牛久センター選別体験&交流会
- 24日 生活クラブ風の村 とんぼ舎佐倉直売会
- 27日 みんなひろマルシェ(千葉市緑区)

#### 7月

- 11日 生活クラブ茨城取手センター選別体験&交流会
- 15日 生活クラブ風の村 とんぼ舎佐倉直売会
- 16日 柏たなか商店会夕涼み会
- 22日 ムザヒル校長・AKBG事務局カユーム氏交流会(東葛センター)
- 23日 船橋市市民まつり
- 24日 ムザヒル校長・AKBG事務局カユーム氏交流会(千葉センター)
- 28日 パルシステム千葉のつどいスーパー
- 29日 生活クラブ虹の街 40周年記念子ども企画市原センター(古着選別&活動説明)

#### 8月

- 2日 虹の街 40周年記念子ども企画千葉ブロック((古着選別&活動説明 JFSA 千葉センター)
- 19日 生活クラブ風の村 とんぼ舎佐倉直売会
- 26日 レッツ体験夏休みボランティア(JFSA 東葛センター)
- 28日 市川市夏休み体験ボランティア(JFSA 千葉センター)

#### 9月

- 22日 エコメッセ千葉
- 23日 生活クラブ風の村 とんぼ舎佐倉直売会
- 29日 パルシステム千葉 東金センターつどい(古着選別&活動説明)
- 30日 パルシステム茨城 土浦センター選別交流会

## 5. 研修

下記の日程で研修を行ないました。

- ・1月22日「貧困削減政策への挑戦状：パキスタンにおける2つのJICAプロジェクト（水牛・杏）の現場から」（財）日本・パキスタン協会（事務局6名）
- ・3月1日 NPO法人せっけんの街訪問 工場見学（事務局全員）
- ・3月8日（有）たつみクリーニング訪問 店舗見学（事務局全員）
- ・4月12日13日 事務局研修（上半期の振り返り）
- ・7月21日 「学校教育の在りようを聞く」（ムザヒル氏・カユーム氏・事務局全員）
- ・8月29日30日 事務局研修（2015年度の振り返り）

年間研修プログラムの作成はできませんでした。公開の学習会を開催できませんでした。

## 6. 多様な団体との連携

### 1)地球市民交流基金アーシアン

代表、副代表の方がパキスタン派遣に同行しました。理事の方たちと招日交流を行ないました。アル・カイルアカデミーの職業訓練所の運営資金、給食費の支援が行なわれました。

### 2)NPOクラブ

理事として理事会に出席しました。古着の回収やイベントへの参加を呼びかけました。NPOクラブが運営する多世代地域交流拠点“おおなみこなみ”で古着の委託販売を行ないました。

### 3)ワーカーズコレクティブ千葉県連合会

総会に参加しました。

### 4)FRうらやす、FR四街道、FR佐倉

**FRうらやす**・・・総会で活動報告を行ないました。活動支援金のカンパ、着物市やイベント出店への協力、アル・カイルアカデミーコンピュータークラスの運営資金支援に協力をしていただきました。

**FR四街道**・・・総会で活動報告を行ないました。活動支援金のカンパ、縫製工房へのカンパ、イベント出店への協力、古着送り出しコンテナ積み込みに協力をしていただきました。

**FR佐倉**・・・活動支援金のカンパ、縫製工房へのカンパに協力をしていただきました。



## 5) 団体会員、団体支援メンバー

回収協力団体では回収の広報を定期的に行っていただき、メンバーの方たちの回収参加、他の団体への呼びかけなどについて協力をお願いしました。

- ①大地を守る会（回収協力団体）・・・招日交流会、古着送り出しコンテナ積み込み参加、事務局の方の پاکستان訪問、古着選別体験企画（活動報告と選別体験）参加、イベント出展とイベント会場での古着回収、配達車による古着回収に協力していただきました。
- ②パルシステム千葉（回収協力団体）・・・イベント出展、回収&選別体験企画の実施、センター祭り出展販売、古着送り出しコンテナ積み込み、招日交流に協力していただきました。
- ③生活クラブ東京（回収協力団体）・・・招日交流会、配達便回収（バイセンター）に協力していただきました。広報誌に記事を掲載して活動を紹介していただきました。
- ④生活クラブ虹の街（回収協力団体）・・・招日交流、古着選別体験企画開催、配達便による古着回収、デポ（生活クラブの店舗）での回収と古着販売に協力していただきました。縫製工房に40周年記念取り組み品のオーダーをいただきました。チャリティーバザールに出店していただきました。
- ⑤ポラン広場（回収協力団体）・・・回収に協力していただきました。
- ⑥社会福祉法人生活クラブ風の村・・・事業所での地域イベントに継続して出店しました。
- ⑦はぎれくらぶ麻の葉・・・和服整理と販売のボランティア、和服の委託販売、和服販売企画に協力していただきました。
- ⑧生活クラブ茨城（回収協力団体）・・・配達便による古着回収と一次選別、古着送り出しコンテナ積み込み参加、古着選別体験企画開催、学習会の開催、イベント出展に協力していただきました。
- ⑨グリーンコープ・・・福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会で、ワーカーの方が使うエプロンと三角巾を縫製工房にオーダーしていただきました。
- ⑩パルシステム茨城（回収協力団体）・・・招日交流会 古着送り出しコンテナ積み込み参加に協力していただきました。学習会・古着選別体験企画を開催していただきました。
- ⑪生活クラブ埼玉（回収協力団体）・・・招日交流に協力していただきました。

## 6) 他の NGO との協力

児童労働反対世界デーキャンペーンに参加しました。

## 7) 企業との協力関係

幾つかの企業から衣類など提供の相談を受け寄付を受けましたが、こちらから企業に対して参加を呼びかけることはできませんでした。チャリティーバザール開催時には地域の事業者から駐車場やポスター掲示など協力がありました。

## 8) APF(互恵のためのアジア民衆基金)との連携

APF 総会（於フィリピン・ネグロス島）にアル・カイールアカデミーとともに参加し、監事に就任しました。APF 会員の韓国の生協ハンサリム連合は、AKBG と連帯した古着販売事業によるアル・カイールアカデミーの支援を検討し、パキスタンを訪問しました。5月にはハンサリム連合担当事務局2名が JFSA を来訪されました。また7月のムザヒル氏招日時には、ハンサリム連合専務が来日し、話し合いを持ちました。

## 9) 社会福祉法人グリーンコープ・ファイバーリサイクル事業部

事務局がファイバーリサイクル事業部を訪問し、古着の回収や販売、作業、コンテナ販売報告、縫製工房の製品についての協議、ゆうあいショップ見学等を行ないました。

「グリーンコープのファイバーリサイクルを支える会」会員に送るグッズとして、縫製工房製作の「名刺入れ」のオーダーをいただきました。

## 10) ユニバーサル就労ネットワークちば

定期総会に出席しました。ユニバーサル就労事例報告会・交流会に参加し、選別協力団体についての紹介をしました。具体的な活動の提案はできませんでした。

## **7. アル・カイルアカデミーの教育・連帯事業に関わるパキスタンの人々と交流**

2015年11月19日から11月29日までムザヒル校長とAKBG理事のサジド・ナズィル氏を、2016年7月19日から7月27日までムザヒル校長とAKBG事務局のカユーム氏を招日しました。JFSAの総会やイベントへの参加、協力団体の訪問、会員や理事、選別協力団体との交流を行ないました。

協力団体からは、(株)大地を守る会の事務局2人、NPO法人アーシアンの代表と副代表、APF社員であるハンサリム連合の役員の方たち6人が事務局派遣に同行しました。また、元東葛センターアルバイトスタッフ1人が、事務局の同行者としてパキスタンを訪問しました。

2015年11月にカラチ市で開催された日本人婦人会のバザーにアル・カイルアカデミーとともに参加しました。(財)日本・パキスタン協会の交流会で出会った日本人女性が、今年からカラチ市内で事業を始める準備をすすめていて、事務局派遣時にアル・カイルアカデミーを訪問しました。

## **8. 国内事業、海外事業の危機管理**

### **1)国内事業**

上級救急救命講習を受講しました。国内事業活動のリスクマネジメントマニュアルは作成には至りませんでした。

### **2)海外事業**

パキスタン派遣、その他の海外派遣においてリスクマネジメントマニュアルに沿った危機管理を行ないました。しかし、AKBG事務局とJFSA事務局を結んだシミュレーションは実施できませんでした。